

衆議院農林水産委員会ニュース

H20.2.20 第169回国会第2号

2月20日、第2回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・農林水産業の実情調査のため、福島県において視察を行った委員を代表して、宮腰委員長から報告を聴取しました。

2 農林水産関係の基本施策に関する件（畜産問題等）

- ・若林農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

江 藤 拓君（自民）

- ・配合飼料価格安定制度について、飼料価格が高止まりした場合に対応する新しい制度を創設する必要があると考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・都府県における飲用乳を生産する酪農経営について、経営安定対策が必要なのではないか。
- ・地域肉豚生産安定基金造成事業について、安定基金発動基準価格を引き上げる必要があるのではないか。

西 博 義君（公明）

- ・配合飼料価格の高騰にもかかわらず畜産物の価格への転嫁がなかなか進まない現状を踏まえ、酪農・畜産経営への抜本的支援が必要と考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・中国産冷凍ギョウザ中毒事件にみるような輸入食品による健康被害の発生防止策としてどのような対策を講じているのか。
- ・アラブ首長国連邦において日本産牛肉の輸入解禁の動きがある中、イスラム教徒向けハラール食品の輸出促進について、政府はどのような対応をしているのか。

仲 野 博 子君（民主）

- ・本年度末からのチーズ増産の動き等を踏まえ、加工用生乳対策の充実・強化が必要であると考え、その具体的対応について農林水産大臣はどのように考えて

いるのか。

- ・配合飼料価格高騰による農家の負担を軽減する民主党の「飼料価格の高騰に対する緊急対策」について、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・輸入飼料に依存せず、国産飼料に立脚した畜産・酪農経営を確立すべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。

石 川 知 裕君（民主）

- ・飼料価格の高騰等に連動して、加工原料乳補給金単価の改定を随時行うべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・酪農飼料基盤拡大推進事業について、経産牛1頭当たりの飼料作付面積に係る基準面積要件を緩和する必要があるのではないか。
- ・現下の厳しい畜産・酪農経営に対する消費者の理解を醸成するため、必要な予算を確保すべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。

佐々木 隆 博君（民主）

- ・WTO及びFTA交渉について、現在の状況と今後の対応方針はどのようになっているのか。
- ・飼料価格高騰の要因の一つと考えられるバイオ燃料の生産の在り方について、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・酪農飼料基盤拡大推進事業について、環境対策を切り離し、自給飼料増産を主目的として事業内容を見直す

必要があるのではないか。

か。また、農林水産省は価格への転嫁に向けてどのような対策を行うのか。

菅野哲雄君（社民）

- ・畜産・酪農農家について、その戸数が減少している理由は何か。
- ・生産費の上昇を畜産物の価格に転嫁できない理由は何

- ・肉用牛肥育経営安定対策事業について、粗収益が物財費を割り込んだ場合に対応できるよう制度の見直しが必要ではないか。

3 平成 20 年度畜産物価格等に関する件

- ・近藤基彦君外 3 名（自民、民主、公明、社民）から提出された「平成 20 年度畜産物価格等に関する件」の決議案について、提出者近藤基彦君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成 自民、民主、公明、社民）
- ・若林農林水産大臣から発言がありました。

4 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・若林農林水産大臣から所信を聴取しました。
- ・平成 20 年度農林水産関係予算の概要について、今村農林水産副大臣から説明を聴取しました。